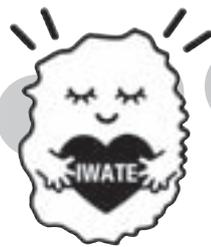


岩手ホスピスの会通信



岩手ホスピスの会（代表：川守田裕司 事務局長：吉島美樹子）

会 員 数 / 500 名 (2014.12.14 現在)

編 集 発 行 / 「岩手ホスピスの会」事務局 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町 13-31 川守田方

TEL : 090-2604-7918 FAX : 019-653-6447

郵便振替口座 / 02250-1-60580 E-mail / hospice@eins.rnac.ne.jp

Homepage (岩手ホスピスの会通信) / <http://hospice.sakura.ne.jp/>

No. 50
2015年1月

今年も全国の患者さんへ届け！ タオル帽子

抗がん剤の副作用による脱毛に悩む患者さんが少しでも笑顔になるように一と願い、今年で7年目となった、全国がん診療連携拠点病院へのクリスマスタオル帽子プレゼントの発送作業が2014年11月10日、盛岡市で行われました。今回は、57箇所の病院へ3,840個のタオル帽子が無料配布されました。当日参加したタオル帽子作成ボランティアさんは20名。この日のためにコツコツと縫い上げてきたタオル帽子が一堂に並べられ、発送用の段ボールに詰められて行くのを見ながら感無量の様子でした。ボランティアさんと患者さんを心と心でつなぐタオル帽子。たくさん患者さんが笑顔でクリスマスを迎えることを願いました。



発送作業を終えたボランティアさんとあんしん生命社員の皆さん

また、この日は東京海上日動あんしん生命様から、タオル帽子が寄贈され、全国各地のあんしん生命の代理店から沢山の社員の方々が駆けつけ発送作業に協力していただきました。ありがとうございました。またこの日のためにご協力いただいた全国のタオル帽子制作ボランティアさん、内野株式会社様など紙面をお借りし深く御礼申し上げます。

タオル帽子クリスマスプレゼントを受け取って頂いた病院一覧

2014年12月（1件50個程度）病院55件 総数3,840個

北海道 KKK 札幌医療センター、北海道大学医学部附属病院 岩手県 県立二戸病院、県立胆沢病院、県立中部病院、県立磐井病院 青森県 県立中央病院、八戸市立市民病院 秋田県 秋田赤十字病院 山形県 県立中央病院 福島県 坪井病院、県立医科大学附属病院 茨城県 県立中央病院 群馬県 公立藤岡総合病院、西群馬病院 千葉県 千葉がんセンター 東京都 NTT 東日本関東病院 新潟県 県立新発田病院 長野県 信州大学医学部附属病院、飯田市立病院 石川県 金沢大学附属病院、金沢医科大学附属病院、県立中央病院 富山県 富山市立富山市民病院 福井県 福井県済生会病院、福井県立病院 静岡県 浜松医療センター、磐田市立総合病院 愛知県 愛知県がんセンター中央病院、名古屋医療センター、豊田厚生病院 岐阜県 高山赤十字病院、岐阜県総合医療センター、岐阜大学医学部附属病院 三重県 三重大学医学部附属病院 滋賀県 市立長浜病院 大阪府 大阪大学医学部附属病院 兵庫県 兵庫県立淡路医療センター、兵庫医科大学病院、姫路医療センター 鳥取県 鳥取市立病院 岡山県 米子医療センター、倉敷成人病センター、岡山済生会総合病院 広島県 広島大学病院、広島市民病院 山口県 周東総合病院 愛媛県 愛媛県立中央病院 高知県 高知医療センター 福岡県 社会保険田川病院 長崎県 佐世保市立総合病院 佐賀県 佐賀県医療センター好生館 熊本県 熊本赤十字病院 大分県 大分大学医学部附属病院 宮崎県 宮崎大学医学部附属病院

各地からのタオル帽子活動レポート⑥

～京都タオル帽子の会 代表・大西ふさ子～

京都タオル帽子の会は、2011年11月1日発足しました。自分に何が出来るかなと考えていた時、岩手ホスピスの会のタオル帽子を知りました。さっそく取り寄せて作ってみました。がんの化学療法の副作用で脱毛に悩んでおられる方に使ってもらってとても喜んで下さいました。私自身が病院のサロンや他の患者会などに参加していたこともあり、そこで帽子をきっかけにひとと人のつながりや輪が出来ました。



現在定期的に7か所でがんサロン風帽子を作る会を開催しています。どんな形で参加してもらっても大丈夫、この会のモットーは「できる時に、できる人が、できる事を、できるだけ」です。開催場所では一生懸命お話をする人、黙々と縫っておられる方、聴いて下さる方、縫い方を教えて下さる方、何もいわなくてもそれぞれにできることをされています。ここでは悩みや話を聴いてもらってスッキリして帰る、タオルは持って帰って自分の好きな時間に作ってもってくる、そんな方もおられます。いつまでに縫ってきてという期限はありません、できてなくても縫えなくても、参加してみんなと過ごす時間を楽しんでいただけたらと思っています。

現在50名ほどの方にボランティアで縫って頂いています。その中の半数はがんサバイバーの方です。つらい時期があったから、私の脱毛の時はこんなのがなかったと話しながら縫ってくださっています。また会員数は130名ほどです。帽子も縫えない、会にも参加できないけれど何かの形で協力したいと入会して下さる方があります。とっても嬉しいですね。タオルの寄贈もあります。病院では無料でいただいたからこのタオルを使ってくださいと言われ寄付し

てくださるのです。病院には無料で配布していますが個人で欲しいという方には2枚1,000円でお譲りしています。「縫ってくださる方には楽しんで、かぶってくださる方には喜んでもらって」無理のないようにと願ってこの会を進めています。

7か所でそれぞれに参加されている方の合同の集いを年1回7月に開催しています。会員の方が講師になっていただいて、十二単衣を着る会や管理栄養士の方の講演会等できることを發揮してもらっています。今年はキルトの得意な方がいろいろ可愛い帽子を作成して皆さんに披露されていました。退職後でもそれまで培ったライフワークが生きる力、やりがいにつながっていると私は思っています。タオル帽子がきっかけで多くの方との出会いがありました。この出会いひとつひとつを大切に頑張りたいと思っています。今後ともどうぞご支援宜しくお願い致します。

●京都タオル帽子の会 代表 大西ふさ子
〒602-8382 京都市上京区末之口町998-19
TEL / FAX : 075-463-5748
E-mail : fusafusa@mqi.biglobe.ne.jp

ホスピス（緩和ケア病棟）Q&A

ホスピス（緩和ケア病棟）利用についての情報をお届けします。参考としてお役立ていただければ幸いです。なお、あくまでも一般的な情報であり、詳細は個々によって異なる場合がありますので、詳細をお知りになりたい場合は、ご利用されるホスピス（緩和ケア病棟）にご確認下さい。



浜松市・聖隷ホスピス礼拝堂

★ホスピス（緩和ケア病棟）入院料について

盛岡赤十字病院様よりホスピス（緩和ケア病棟）の入院料について教えていただきました。以下の通りです。

一日につき①30日以内の期間：4,926点②31日以上60日以内の期間：4,412点③61日以上90日以内の期間：3,384点となります。保険点数ですので、円ではなく点の単位です。1点＝10円です。保険により自己負担額がかわります。もちろん、高額療養費の適応となります。

★ホスピス病棟に入院したらがんの治療は受けられない？

ホスピスでは抗がん剤などを使用したがんに対する根本的な治療はおこなっておりません。がんに関連した痛みや嘔気など苦痛な症状に対する治療を中心におこなう病棟になります。体調が整い、抗がん剤の再開を希望する場合はホスピス病棟を退院して治療を受けていただきます。

★ホスピスで入院継続は可能？

ホスピス（緩和ケア病棟）に一度入院すれば、基本的にご本人が望めば入院継続は可能です。途中で退院させられることはありません。

★ホスピス病棟に入院した場合に、24時間付き添いが必要ですか？

必ず付き添いをお願いするということはありません。但し、個室という事もあり患者様が安心して過ごすために希望されれば、付き添っていただくことが望ましいと思います。また患者様の病状が変化した場合などで、こちらで付き添いが必要と判断した場合には、ご相談させていただきます。

痛み治療や痛みどめに対する誤解

痛み治療についての誤解は根強いものがあり、未だに時々耳にしますが、まず、痛みは我慢すべきものではありません。痛みを我慢していると食欲低下、不眠など日常生活への支障が出ます。

早い時期から積極的に痛みを取ることで、身の回りのこと、仕事、家事などのこれまでの生活を続けることが可能になるのです。また、モルヒネ等の医療用麻薬は、痛みの治療を目的として適切に使用した場合、麻薬中毒や精神依存を起こすことはありません。さらに、医療用麻薬の使用により精神状態や意識の混乱を引き起こすことは少なく、仮に生じても薬の量を調整したり、種類を変更したりすることで症状は改善します。また、医療用麻薬が医師のもとで適切に使用された場合は、寿命が縮まったり、死期が早まることはありません。

「がんの痛み治療ガイド（日本緩和医療学会・緩和医療ガイドライン委員会編集）より抜粋」

岩手県内各ホスピス現況 (2014年12月現在)

(岩手ホスピスの会調べ 詳細は各病院に直接お問合せ下さい)

	孝仁病院 緩和ケア病棟	盛岡赤十字病院 緩和ケア病棟	岩手県立磐井病院 緩和ケア病棟	岩手県立中部病院 緩和ケア病棟	美山病院 緩和ケア病棟
住 所	盛岡市中太田泉田 28	盛岡市三本柳 6 地割 1 番地 1	一関市狐禅寺字大平 17 番地	北上市村崎野 17 地割 10 番地	奥州市水沢区羽田町 字水無沢 495-2
電 話	019-656-2888 医療福祉相談室	019-637-3111(代表) 緩和ケア相談室 内線 338 川村・阿部	0191-23-3452	0197-71-1511	0197-24-2141
病 床 数	10 床	22 床 (全室個室)	24 床 (個室 20、2 床室 2)	24 床 (個室 18、2 床室 3)	20 床 (全室個室)
ベ ッ ド	無料 8 室 有料 2 室	無料 12 室 有料 10 室	無料 17 室 有料 7 室	無料 14 室 有料 10 室	無料 20 室
有料室料金	1 日 3,150 円	1 日 5,400 円・ 10,800 円	1 日 3,130 円～ 6,370 円	1 日 3,150 円～ 12,810 円	有料室なし
看 護 師 数	15 名	18 名	17 名	17 名 + 補助 2 名	17 名 + ケースワーカー 1 名 + 看護補助者 6 名
ホスピス医	臼木豊先生、 米山幸宏先生	旭博史先生、 畠山元先生	平野拓司先生	関根義人先生、星野彰 先生、平賀一陽先生	菊池俊弘先生、 及川司先生
入院審査を受けるには	医療福祉相談室にご 相談ください。 月～土曜 8:30～ 17:15 (担当 湊)	緩和ケア外来を受診	緩和ケア支援セン ターにお問合せ下さ い。 0191-23-3452	0197-71-1511 (入院相談他) がん相談支援室 相談時間: 平日 9:00～16:00	入院相談(担当:ケ ースワーカー) 後面談 入院検討会(医師、 薬剤師、栄養士、看護 師、理学療法士で構成)
審 査 日	随時	随時	随時	随時(入院依頼があっ たその日に即日対応)	随時(その後ベッド が空くまで待機)
ホスピス入院 平均待機者人数	院内 7 名 院外 2 名	0	0	3～4 名	0
ホスピス入院 平均待機期間	約 1～2 週間 (時期により変動あり) 重症者優先	外来受診後、平均 6 日	1～2 日	待機期間は同院一般 病棟や近隣の病院、 連携のとれている訪 問診療で対応	なし
利用者内訳	盛岡市周辺がほとん ど(8割以上)	盛岡市周辺の方がほ とんど	一関市周辺や宮城県 北の方がほとんど	花巻北上周辺の方が 8割以上。その他は 水沢、盛岡南部等	奥州市周辺の方がほ とんど
緩和ケア外来	診察日: 月～水・金・土 8:30～17:15 木 8:30～12:30 担当医:臼木豊先生・ 米山幸宏先生	診察日: 月～水、要予約 担当医:旭博史先生 畠山元先生	診察日: 月～金、要予約 担当医: 平野拓司先生	診察日: 月・金の午前、 要予約 担当医: 星野彰先生	診察日: 水 担当医: 菊池俊弘先生
ホスピスボラ ンティアの 人数と活動	登録者 24 名 実働 7～8 名 ホスピスボランティ ア募集中 019-656-2888 4 階病棟藤原まで 都合のよい時間でよ いのでぜひ!	病院ボランティア 登録者 17 名。うち 10 名がホスピスで 活動中。 病院ボランティア募 集中	ボランティアコー ディネーター 2 名、 ボランティア 12 名 活動:ティータイム、 季節の行事、がん患 者サロン(こころば)	H23 年 6 月～ボラ ンティア活動開始 40 名登録 定期的に研修を行っ ている	現在登録者 20 名で 活動中。ホスピスボ ランティアを募集中
遺族会の名 称と連絡先	ひだまりの会 年 1 回開催 院外の方も参加可能 連絡先:湊、藤原	設置検討中	なし	偲ぶ会 緩和ケア病棟 (0197-71-1511) 当院緩和ケア病棟で お亡くなりになった 方のご遺族の方のみ これまでに 3 回開催	<small>しちせき</small> 七夕の会 緩和ケア病棟 (0197-24-2141) 当院緩和ケア病棟で お亡くなりになった 方のご遺族の方のみ これまでに 2 回開催
入 院 料			医療保険適応		一般病棟と同じ

岩手ホスピスの会とタオル帽子ボランティアへの メッセージ (2014年7月～12月)

当会のタオル帽子を受け取った全国の皆さんから当会に寄せられたメッセージの一部をご紹介します。2008年6月からスタートしたタオル帽子発送はこれまで63,840個に上っています。帽子を作るボランティアの皆さんに深く感謝申し上げます。



◆可愛らしいタオル帽子をありがとうございます。姉が乳がん手術を受け、今から抗がん剤が始まります。私の実家のある新潟にはホスピスの会がないようで、少しでも役に立ちたく、まず帽子を購入しました。以前ホスピスボランティア初級講座を受講し岩手ホスピスの会を知りました。こういう形で又お世話になるとは思っていませんでした。これからもよろしく願います。(岩手県宮古市)



全国の病院へ向けてタオル帽子発送作業

◆初めまして。本日8月11日市民病院にて大変心のこもった帽子をいただき、友人に差し上げようと思います。きっと喜ばれると思いつつ目頭があつくなりました。友人もすごく喜んで下さると思います。感謝のひとつです。ありがとうございます。(広島市)

◆暑い夏の日にも心もくじけそうな今日、娘が一生懸命ネットで探してくれ、皆さまのところにたどり着き、年老いた私のために頼んでくれました。毎日、今日は今日と待っていたこの帽子。メッセージ付きで送っていただき涙が出ました。本当にありがとうございます。素敵なタオルの絵模様、大好きです。これからの日々、この病気と前向きに生きていきたいと思います。家族のみんなと皆様の暖かいお心を忘れないように。(大分県)

◆突然のがん宣告、大変なことになってしまっていて狐につままれた感じ。夢なら覚めてと思ったんだけど、現実でした。あれあれという間に検査、生検、検査、不安と緊張のなか治療スタート。皆様に作っていただいたタオル帽子。ちなみにタオルは愛媛県の名産です。たくさんの励ましをいただいた気がします。これからの治療の支えとなります。同じ病気の方と励ましあい、いたわりあいながら頑張っていこうと思っています。(愛媛県伊予市)

フェイスタオルご寄付のお願い

皆様をお願い申し上げます。ボランティアさんがタオル帽子を作るためのフェイスタオルが不足しております。できましたらご寄付のご協力をお願いいたします。どのようなものでも構いません。ご家庭で眠っているタオルがありましたらぜひお送りください。

〈送付先〉

〒020-0883 岩手県盛岡市志家町13-31 岩手ホスピスの会宛



被災地支援活動①

7月5日。当会より4名と北東北3県自治体職員有志約40名による、被災地草刈ボランティア活動を行いました。

場所は岩手県陸前高田市竹駒町上壺・下壺仮設住宅、米崎町ヤルキタウン。住民の方々の高齢化で手が回らない仮設住宅周辺や被災地復興活動を行うNPO施設周辺に生い茂った草刈りのお手伝いに汗を流しました。

「被災地ボランティア」と言うと「まだやっているの。もう過去の事でしょう」と言われる程風化が顕著な昨今ですが、震災以降ささやかながら細々と支援を続けてきた私たちは、いまだに2か月に一度は自然に被災地に足が向いてしまいます。この日も「どれだけ役に立っているのだろう」と自問しながら作業を終え帰途に着きました。



被災地での草刈ボランティア活動

被災地支援活動②

第2回高田松原KEIOカップサッカー大会が8月30日陸前高田市米崎町仮設グラウンドで行われ、慶応義塾大学三田サッカー倶楽部OB会、陸前高田高校サッカー部OBを中心とする高田松原クラブ、昨年の覇者FCバリバリの選手たちがサッカーを通じて交流しました。ホスピスの会は昨年同様会場で選手の方々のために果物、ゆで卵、コーヒーを用意して提供させていただきました。



サッカー大会でのボランティア活動

書籍紹介

患者さんと家族のための がんの痛み治療ガイド

- 編集 特定非営利活動法人日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会
- 発行所 金原出版株式会社 ●発行日 2014年6月20日
- 定価 1,400円+税

ほとんどの痛みは治療によってやわらげることができること、痛みは我慢する必要がないこと、むしろ不必要に我慢することで患者さんにいろいろと不利益が生じること、痛みを誰にどうやって伝えればよいのか、がんの痛みにはどのような治療が行われるか、痛みどめの薬は怖くないのか、薬以外にどのような痛み治療の方法があるのか、などについてわかりやすく書かれています。(中略)

さあ、読者の皆さま、一日も早く痛みをやわらげて快適な治療・療養生活を送ってください。そして、このガイドをそのお手伝い役として、ぜひご活用ください。(本書より)



栄養講座 レシピ がん患者さんのための栄養講座 パート 18

岩手県立胆沢病院 栄養サポートチーム 管理栄養士 蛇口 真理子

ストレスが溜まると免疫力が低下して風邪やインフルエンザなどの感染症にかかりやすくなります。腸内細菌の環境を良くすることで、免疫力が高まると言われています。腸内環境というところヨーグルトなどのイメージもありますが、他にも納豆菌や麹菌も同じような働きをします。今回は、納豆を使い、簡単にできる餃子を紹介します。



簡単・納豆ぎょうざ

1人前 約 140 kcal

作り方

- ①納豆に添付のたれを混ぜ、ピザ用チーズを加えさらに混ぜ、10等分にする。
- ②餃子の皮に①をのせ、縁に水を付けて半分に折って閉じる。
- ③フライパンにごま油小さじ2を熱して、②を並べ中火で焼く。底がキツネ色になったら60～100mlの湯を注ぎフライパンで蒸し焼きにする。湯がほとんどなくなったらふたを外してごま油を回し入れ、水分を飛ばしてカリッと焼き上げる。
- ④器にもり、添付のからしを添える。

※お好みで大根おろしを添えてもよい。

参考文献：からだよろこぶ「健腸」レシピ

材 料	分量 (2人分)
納豆	40 g
ピザ用チーズ	20 g
餃子の皮	10 枚
ごま油	適量
湯	60～100ml
ひきわり納豆の添付たれ・からし	

《胆沢病院 栄養サポートチーム栄養士 活動日誌⑤》

《抗がん剤とお口のケア》 抗がん剤投与により、お口にトラブルが出ることがあります。お口のトラブルがあることで「口が痛い」「食べられない」という問題が起こります。

★抗がん剤投与と副作用の発生

- ◆食欲不振
- ◆お口のトラブル
- ◆貧血
- ◆吐気
- ◆感染症
- ◆爪の異常など
- ◆味覚障害
- ◆食欲不振
- ◆アレルギー反応など
- ◆脱毛 など

お口のトラブルがあるときは、食事では、柔らかいもの（粥・麺・ゼリー等）に変える、また、酸味の強いもの、せんべいなどの硬いもの、熱いもの、辛いものは控えましょう。

お口の悩みで相談があるときは主治医、歯科医師、看護師へ相談してみてください。お口の状態をより良く保ち、治療中でもおいしく食べましょう。

参考文献：抗がん剤治療を受けられる方へお口のお手入れについて

小児がんで子どもを亡くしたご家族のためのお話会のご案内

日 時：2015年6月7日（日）、11月8日（日） 10：30～12：30
 場 所：いわて県民情報交流センター アイーナ 7F 〈参加費 300円〉
 お問い合わせ：FAX 019-694-3234 E-mail：shabondama_iwate@yahoo.co.jp
 主 催：いわて小児がん子どもと家族のピアサポートしゃぼん玉





有賀久哲先生

切らずに治す放射線治療の着実な進歩

市民のためのがん治療の会（會田昭一郎会長、本部・東京）は8月9日岩手医大歯科医療センター講堂で、「切らずに治す放射線治療の着実な進歩」と題して講演会を行い、北海道がんセンター名誉院長・西尾正道先生と岩手医大放射線医学講座教授（放射線腫瘍学分野）・有賀久哲先生が最新の放射線治療について講演しました。開会挨拶で主催者の會田会長は、ご自身が舌癌を患い、幸いにも西尾先生の放射線治療を受け、舌部切除による不自由さを免れることができた体験を語り、「がん治療には切除手術だけでなく放射線治療のような様々な選択肢がある。治療法を決めるのは皆さん一人ひとりにかかっている。ぜひ様々な治療法を知っていただきたい」と強調されました。また、西尾先生はご自身の講演の中でがん放射線治療のメリットを語り、「今日この講演を聞いた皆さんはラッキーです。もしがんになっても岩手医大に行けば有賀先生が皆さんを迎えてくれるでしょう」と話されました。

岩手県議会への甲状腺検査請願不採択

平成26年12月8日、岩手県議会環境福祉委員会が開催され、西尾正道先生の参考人意見聴取の後、県内4つの市民団体より提出されている「県南三市町における子どもの甲状腺検査実施請願」の審査があり、大変残念ながら不採択になりました。西尾先生からは、「チェルノブイリの経験を踏まえるとこれからは甲状腺がんが増加する時期だ」「親に事実を知らせることが、メンタルケアの基本だ」という意見などが出されましたが、請願採択賛成3反対5で不採択という結果となりました。（社民1、希望未来フォーラム（生活の党系）2が賛成、自民3、民主1、岩手県民クラブ1が反対）

この際県の説明は、福島近隣県における対応の方向性、福島県民健康調査・甲状腺検査の状況を見守りながら今後対応して行く、ということでした。私たちも福島の方の動向を見て、情勢の変化により再度請願を提出してはどうだろうかと考えております。昨年末NHKスペシャルで福島県の甲状腺検査をめぐる親御さんたちの苦悩が大きく報道されていきました。今後岩手県南や福島の子どもの状況を注意深く監視していきたいと思っております。



西尾正道先生

タオル帽子を作りたい方へ

※タオル帽子を作りたい方へ型紙をお譲りしています。

※型紙・見本の帽子1個（送料込み1,000円）

※申し込み方法：はがきかメールでお願いします。メールアドレス：hospice@eins.rnac.ne.jp

はがき：031-0823 青森県八戸市湊高台6-4-22 吉島方「岩手ホスピスの会」



これからのタオル帽子講習会日程

2月14日：タオル帽子講習会・倶楽部

3月14日：タオル帽子講習会・倶楽部

4月11日：タオル帽子講習会・倶楽部

場所：盛岡市総合福祉センター 開催時間：午後1時30分から 問い合わせ先：080-1658-1762

※型紙のコピーはご遠慮願います。型紙の必要な方は当会へお問い合わせください。

***** 岩手ホスピスの会活動日誌 *****

2014年7月～12月

7月 3日 「県南三市町の子供たちの甲状腺検査を求める
 請願」 継続審議傍聴

……………(岩手県議会環境福祉委員会、1名)

7月 5日 被災地草刈ボランティア活動
 ……(陸前高田市米崎町ヤルキタウン、5名)

7月 6日 通信 49号発送作業
 ……………(盛岡市総合福祉センター、7名)

7月 12日 タオル帽子倶楽部・講習会
 ……………(盛岡市総合福祉センター、●名)

8月 2日 タオル帽子倉庫作業
 ……………(盛岡市タオル帽子倉庫、7名)

8月 5日 「県南三市町の子供たちの甲状腺検査を求める請願」 継続審議傍聴
 ……………(岩手県議会環境福祉委員会、1名)

8月 9日 第5回役員会～タオル帽子倶楽部・講習会……………(盛岡市総合福祉センター、●名)
 市民のためのがん治療の会主催「切らずに治す放射線治療の着実な進歩」参加
 ……………(盛岡市岩手医大歯科医療センター講堂、3名)

8月 16・17日 タオル帽子チャリティーバザー……………(滝沢市土日ジャンボ市、6名)

8月 30日 陸前高田市震災復興祈願サッカー大会ボランティア……………(陸前高田市、2名)

8月 31日 がん患者さんのための栄養公開講座開催……………(総合福祉センター、●名)

9月 2日 「県南三市町の子供たちの甲状腺検査を求める請願」 参考人招聘審議傍聴 …(岩手県議会、1名)

9月 8日 岩手県立中央病院、盛岡友愛病院を訪問しタオル帽子活動について相談、
 友愛病院にタオル帽子 50 個を寄贈 ……………(同院、3名)

9月 10日 エフエム岩手番組「盛☆盛ライオン」にゲスト出演し岩手の緩和ケアについて話す
 ……………(盛岡市エフエム岩手スタジオ、1名)

9月 13日 第6回役員会～タオル帽子倶楽部・講習会……………(盛岡市総合福祉センター、●名)

9月 16日 岩手県立中央病院医療相談室にタオル帽子 50 個を寄贈……………(県立中央病院、2名)

9月 28日 全国がん診療連携病院へのタオル帽子発送準備作業……………(盛岡市総合福祉センター、8名)

10月 5日 タオル帽子倉庫作業……………(盛岡市タオル帽子倉庫、3名)

10月 11日 タオル帽子倶楽部・講習会……………(盛岡市総合福祉センター、●名)

10月 12日 第7回役員会……………(盛岡市総合福祉センター、8名)

11月 8日 タオル帽子倶楽部・講習会……………(盛岡市総合福祉センター、●名)

11月 10日 東京海上日動あんしん生命様よりタオル帽子贈呈式と全国のがん診療連携拠点病院の
 患者さんに向けてタオル帽子の発送作業……………(盛岡市総合福祉センター、20名)

11月 15日 タオル帽子チャリティーバザー……………(滝沢市土日ジャンボ市、6名)

12月 8日 「県南三市町の子供たちの甲状腺検査を求める請願」 参考人招聘審議傍聴 …(岩手県議会、1名)

12月 13日 タオル帽子倶楽部・講習会……………(盛岡市総合福祉センター、●名)
 県主催がん患者家族会情報交換会参加……………(盛岡市エスポワールいわて、2名)

12月 14日 第8回役員会……………(盛岡市総合福祉センター、7名)

12月 20～21日 タオル帽子チャリティーバザー……………(滝沢市土日ジャンボ市、12名)

12月 27日 タオル帽子倉庫作業……………(盛岡市タオル帽子倉庫、6名)



タオル帽子倶楽部

常に患者の視点で

岩手ホスピスの会事務局長

吉島 美樹子 氏

よく「ホスピスって、心の痛み、さまざまの痛みを抱える。限られた時間の中で自分らしく過ごすためにサポートしてくれる医療者がホスピスだ」と思っているが、みんなが助かるわけではない。がんが末期になった場合、患者さんは体の痛

み、心の痛み、さまざまなものを抱える。限られた時間の中で自分らしく過ごすためにサポートしてくれる医療者がホスピスだと思っ

6年前からタオル帽子活動を始めた。これは末期がんの患者を見守る家族の言葉がきっかけだった。活動は全国に広がっているが、その背景には、必要とされている患者が多いということがあり、患者が多いことに複雑な気分だが、役に立てるのなら継続していく必要性があると思っ



よしじま・みきこ
洋野町（旧種市町）出身。1983年から調理師として町役場に勤務。30歳のときに悪性リンパ腫を患うも、抗がん剤治療などを経て完治。2005年「岩手ホスピスの会」事務局長に就任し、がん患者のためのタオル帽子を製作、贈る活動を続けている。タオル帽子は全国各地から注文が来ている。八戸市在住。

[2014.11.3 デーリー東北]

岩手や青森だけでなく全国の患者さんが必要としているなら届けなければならぬと思

みがあり、医療者が何かに気付いたのだと思

考え、各地域のボランティアのサポートにも取り組んでいる。

2人に1人はがんになる時代といわれている中で、本当に他人ごとではないと感じている。患者さんにはたく

患者の思いに寄り添う

■岩手ホスピスの会事務局長

よしじま・みきこ 吉島美樹子さん(53)

八戸市(洋野町出身)

熱中人

がん患者の肉体的な痛みや精神的な不安を和らげ、日常生活を支援するなどの活動を行っている「岩手ホスピスの会」の事務局長として、日々奮

活動の柱の一つ、抗がん剤の副作用で脱毛に悩む患者に贈るタオル帽子作りは、活動の柱の一つ。08年6月から始まった。母が脱毛で落ち込んだ。母が脱毛で落ち込んだ

洋野町出身。現在の住居は八戸市だが、平日は洋野町立天野保育園で調理師として勤務する。週末や祝日を活用し、ボランティアとして同会の拠点で事務局がある盛岡市を訪れている。会は2007年12月に発足し、12年目を迎えた。

全国の病院に発送した帽子は5万2千個以上。4月からは、東京都と共同開発したタオル帽子の販売が、全国の百貨店で始まった。購入や寄付で入手する材料のタオルは慢性的に不足し、年間100万円の発送料も負担となっていた。企業の賛助で販売が始まった

でいる。どうすればいいか」との患者さんの家族からの相談がきっかけ。帽子を必要とする人たちは数多くいた。自身も30歳の時に悪性リンパ腫を患い、脱毛に悩んだ経験も。医療だけが先走るのではなく、患者さんの思いに寄り添っていききたいとの思いを強くした。

「これからも患者さんに寄り添う活動を継続したい。やめるわけにはいかない」と力を込めた。

(沢田 昌宏)



タオル帽子を作る吉島美樹子さん

[2014.7.5 デーリー東北]

岩手ホスピスの会総会記念映画上映

ドキュメンタリー映画

いのちがいちばん輝く日 ～あるホスピス病棟の40日～

2015年2月21日(土)

開場 13:00 開演 13:30～15:10

盛岡市大通・岩手教育会館大ホール **入場無料**

日本でホスピス病棟の日常を映し出した初のドキュメンタリー映画

本作は、新聞記者を経て、現在はテレビドキュメンタリー番組やCM、企業PR映像などの演出を手掛ける、奈良県在住の溝淵雅幸の劇場用 初監督作品。2008年夏、細井先生が出演するテレビ番組の制作を担当したのをきっかけで、ホスピスを舞台にしたドキュメンタリー映画の制作を着想する。2011年12月から40



日間、スタッフとともに滋賀県にあるホスピス病棟の患者やその家族に密着して記録した映像は、初のホスピス施設の日常を描いた作品として大きな注目を集めている。

2012年/日本/HD/カラー/16:9/95分

お問合せ：岩手ホスピスの会 Tel 090-2604-7918

この事業は、(公財)いきいき岩手支援財団の助成を受けて実施されるものです。

新年度会費の納入をお願いいたします。

岩手ホスピスの会は皆さんの会費により運営されております。2015年度会費(2015年1月～2015年12月分)を郵便局にて、振込用紙に住所、氏名を明記の上振込をお願いいたします。

なお、行き違いですすでにお支払いいただいております折は、なにとぞご容赦ください。また、ご住所の変更があった方はお手数ですがご連絡をお願いします。

会費：1,000円(複数口可) 郵便振替：02250-1-60580 岩手ホスピスの会

食べ物に込めた物語

がん患者の栄養管理士 蛇口さん(管 理 士)講演



がん患者や家族の食生活についてアドバイスする
蛇口真理子さん

[2014.9.5 盛岡タイムス]

がん患者やその家族のための栄養公開講座が8月31日、盛岡市若蘭町の総合福祉センターで開かれた。県立胆沢病院管理栄養士の蛇

口真理子さん(37)がストレスに負けない食生活について講演。市民14人が耳を傾けた。体調が優れないと、食も進まなくなりがち。抗がん剤などの影響で口内炎や吐き気に悩まされる人も少なくない。「そんなときは、栄養を度外視し、量は少なくとも、おいしく食べることを重視して」とアドバイス。さっぱりして、喉越しのいいものや、カレーなど味はつきりした料理を上手に取り入れることを勧めた。

食べられない姿を見るのは看病する家族にとってもつらい。準備した料理を口にしても食べられないと、患者以上に落ち込むことも。食べられないのは仕方がない場合もある。家族の人もつらい気持ちを、他の家族や、医療者に打ち明けると、少し気持ちが楽になる」と語り掛けた。

緩和ケアチームの一員として活躍する蛇口さんは、病院食でもできるだけ入院患者の気持ちに添った献立の提供を心掛けている。ケースによっては、ピルや手作りクッキーを加えることも。横になつたまま食べざるを得ない患者には、料理の中身が見えやすいガラス食器を使うなど少しでも食欲をそそる工夫をする。

末期がんの75歳の男

性が「おふくろの味が食べた」とつぶやくのを耳にし、小さなみそ握りを出したことがある。この男性には、幼い頃、お腹をすかして家に帰ると、いつも母親が握り飯を用意して待っていてくれた思い出があった。

「一年を重ね、自分の体調が厳しくなっても、生んでくれた母親への感謝の気持ちを保持していた。素晴らしい」と蛇口さん。食べ物に織り込まれた、その人の人生の物語を大事にしたいという。「食べ物は人の心を支える。患

タオル帽子で勇気贈る

ホスピスの会
の会 がん病院に発送

岩手ホスピスの会(川守田裕司代表)は10日、全国のがん診療連携拠点病院へのタオル帽子の発送作業を行った。今年で6年目になる取り組みで、同会員、活動を支援している東京海上日動あんしん生命保険の社員らが参加している。同日は約40人が参加し、約50カ所の病院へ向けて4千個のタオル帽子を荷造り。全国に向け、一足早いクリスマスプレゼントを届ける。

がん患者のサポートに重点を置く同会の活動の一環。抗がん剤治療により、髪が抜けて



タオル帽子の荷造り作業をする参加者ら

それらを箱詰め。早ければ来週中にも各病院に送り届けられる。川守田代表は「がんになるとショックで、悩みを抱えながらの闘病生活になる。その中で、その人らしく病気に向き合えるよう、みんながサポートしよう」と活動している。患者さんとその家族、ボランティアの皆さんで、今後も支え合っていければ」と話していた。

[2014.11.12 盛岡タイムス]